

令和元年度教育研究活動報告書

氏名	原卓史	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（文学）	職位	准教授
専門分野	日本近現代文学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	日本語表現法、日本文学史、日本の文学、近現代文学専門演習、日本文学講読、日本文学講義
大学院	日本文学特論
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）坂口安吾・太宰治などの研究	
（2）歴史・時代小説研究	
（3）カストリ雑誌研究	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R1・H30・H29	
R1	〈論文〉 「白石一郎「海狼伝」の移動—〈間〉に立つために—」（『尾道文学談話会会報』二〇二〇年二月） 〈資料紹介〉 「『好色文庫』総目次」（『尾道市立大学芸術文化学部紀要』二〇一九年三月） 〈展覧会資料〉 「坂口安吾主要居住地・旅行先早見地図」（『小田原文学館特別展「坂口安吾」ができるまで』小田原市立図書館 二〇一九年六月）
H30	〈論文〉 「坂口安吾「墮落論」の反響—文学史のゆくえ」（『尾道市立大学日本文学論叢』二〇一八年—二月） 〈資料紹介〉 「『オール不夜城』総目次」（『尾道市立大学芸術文化学部紀要』二〇一八年三月） 〈研究動向〉 「時代小説」（『昭和文学研究』二〇一八年九月）
H29	〈論文〉 「和田竜『村上海賊の娘』論—成立過程と人物造型をめぐって」（『尾道市立大学談話会会報』二〇一七年二月） 〈資料紹介〉 「『猟奇』総目次」（『尾道市立大学芸術文化学部紀要』二〇一七年三月） 〈資料紹介〉 「高麗郷由来（小特集 坂口安吾蔵書書込の翻刻と解題）」（『坂口安吾研究』二〇一七年三月）
H28以前の主な研究業績	
（1）〈単著〉『坂口安吾 歴史を探究すること』（双文社出版 二〇一三年五月）	
（2）〈編集協力〉越前谷宏他編『田中英光事典』（三弥井書店 二〇一四年四月）	
（3）〈論文〉「安吾と飛騨—「夜長姫と耳男」への道程」（『坂口安吾研究』二〇一四年—二月）	
（4）〈論文〉「坂口安吾「風と光と二十の私と」論—教室のなかの「私」／小説家になった「私」」（『芸術至上主義文芸』二〇一四年—一月）	
（5）〈論文〉「坂口安吾「墮落論」論—武士道をめぐって」（『尾道市立大学日本文学論叢』二〇一六年—二月）	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H29・H30・R1	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
所属学会：日本近代文学会、昭和文学会、芸術至上主義文芸学会、坂口安吾研究会、横光利一文学会 役員等：坂口安吾研究会運営委員長（二〇一八年九月～現在に至る）	
IV 社会活動	
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）	
（1）於広島県立賀茂高等学校（二〇一九年七月四日） 「坂口安吾「墮落論」の反響—文学史のゆくえ—」	
公開講座	1 回
講演会	回
出前授業	1 回
その他（ ）	回